

## 「イズミルで日本の桜風」イズミル日本文化週間開催報告 (2016年2月26日～28日 於：イズミル・サナット)

2月26日から3日間、イズミル市で、本年度3回目となる「イズミルで日本の桜風」イズミル日本文化週間が開催されました。ここでは日本映画祭、日本語弁論大会、生け花デモンストレーション・ワークショップ、グラフィック絵画展示など、様々な分野における複合型日本文化紹介イベントを開催し、イズミル県副県知事も含め延べ約1500人のイズミル市民の皆様にご参加いただきました。

日本映画祭では、宮崎駿監督のラスト作品である「風立ちぬ」、米林宏昌監督「思い出のマーニー」、野口光一監督による日本初のフル3DCGアニメ「楽園追放」など日本を代表するアニメ3作品のほか、現代映画の最新作「麦子さんと」、「鍵泥棒のメソッド」、時代劇「花のあと」などを上映し、様々な切り口から映像を通して日本の姿を紹介しました。



映画祭会場の様子

また、今回3回目を迎える日本語弁論大会「私の目から見た日本 III」では、ブログ部門および弁論部門計の20名が、コスプレ、アイドル、ファミコンなどの日本のポップカルチャーから、盆栽、落語まで、独自の目線で日本について熱弁をふるいました。



弁論大会で挨拶する江原総領事



スピーチする弁士



集合写真

弁論大会後に行われた、江原総領事夫人による「生け花デモンストレーション」では、生け花の基礎や、日本と西洋の美感覚の違いなどを説明したあと、参加者の中から5名の希望者を募り、実際に生け花体験をしてもらいました。トルコにある身近な材料で、日本の伝統美である生け花を実際に体験した方々は、作品を自らの手で作り上げられたことに感激の声をあげていました。



生け花デモを行う江原総領事夫人



子どもたちにいけばなWSを行う  
江原総領事夫人



グラフィック展示会の様子

これら行事の他、ドクズ・エイリュル大学芸術学部グラフィック学科の先生方によるトルコと日本の友好・文化をテーマにしたグラフィック絵画展示「月と太陽」が行事期間中会場のホワイエで開催されるなど、イズミル市民に様々な角度から日本文化を紹介する機会となりました。  
ご来場いただいた皆様、どうもありがとうございました。